

花モモの適正管理をお願いします！

全国的なモモの産地である「ふくしま」は、近年「モモせん孔細菌病」のまん延により、産地の維持が大きな課題となっております。

花モモを楽しまれている皆様に、適正な管理を通して病害虫の発生防止に取り組んでいただくことで、産地「ふくしま」の維持にご協力をお願いいたします。

管理のポイント

1 病害虫の防除について

下記の花モモ防除暦により、果樹の園地に被害が及ばないように防除を行ってください。

【花モモ防除暦】

散布時期	対象病害虫	防除法と薬剤の種類及び希釈濃度	注意事項
3月上旬～ (随時)	縮葉病	落花が近くなると、葉が出るため、被害葉（裏面参照）を見つけたら取り除く。	取り除いた被害葉は、そのまま土の上に置かず、燃えるごみとして処理する。
5～9月 毎月上旬	モモハモグリガ シンクイムシ類 アブラムシ類 ハマキムシ類	家庭園芸用スミチオン乳剤1,000倍 (水1リットル当たり1cc) 展着剤ダイン (薬液10リットル当たり3～5滴)	薬剤は葉だけでなく幹の部分にも散布する。 (枝幹害虫の防除)

※薬剤散布にあたって…①薬剤はホームセンターやJA等で販売しています。

②薬剤が樹全体からしたたる程度まで散布してください。

③風のない晴天の日に散布してください。

※摘果について……………花の時期終了後（5月中旬～6月上旬）、果実をすべてもぎ取ってください。

実が成ったままの状態にしておくと、病害虫の発生・樹勢衰弱の原因となります。

2 せん定について

(1) 実施時期 : 花の鑑賞後の5月末日～6月上旬及び8月末～9月上旬
(できなかった場合は11月下旬)

(2) せん定の要領

①まず樹高を2～2.5mに切り下げてから、混んでいる大枝の間引きをしてください。

(基部から切除するか、途中まで切り戻す) 切り口には切口保護剤を塗布してください。

②小さな枝はそのままに、混んでいる箇所を間引きして日当たりをよくしてください。

③枯れ枝は病害虫に侵されている場合が多いので、取り除いてください。

3 土壌管理について

葉色が淡く、枝の伸びがよくない場合は肥料不足が考えられるので、化成肥料を一掴み与えてください。また、土壌が乾燥している場合は、敷わら、または、敷草をしてください。

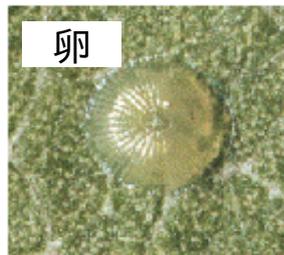
病害虫の写真

縮葉病



被害葉

モモハモグリガ



卵



幼虫



まゆ



成虫

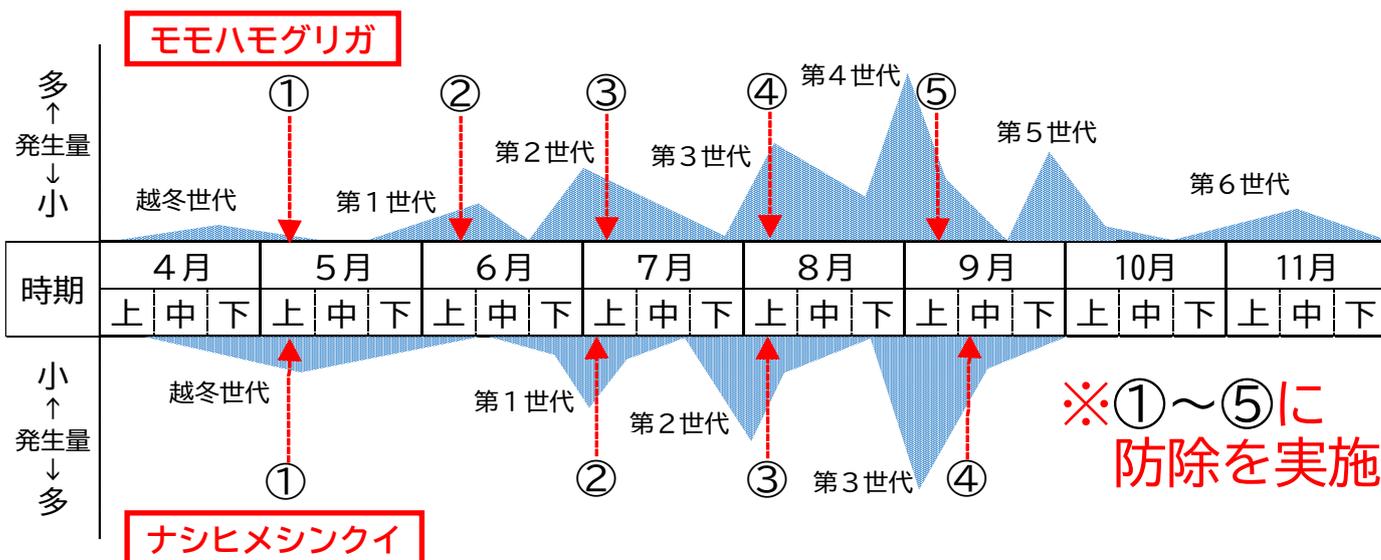
シンクイムシ類



アブラムシ類



注意すべき病害虫の発生時期と防除時期



※「花モモ」を植栽している方で、「花モモ管理マニュアル」をご希望の方は下記連絡先までご連絡ください。

【連絡先】 福島市役所農業振興課 生産振興係 ☎525-7720